研究論文

ジェンダー公正の視点からみる
アイスランド教科書の特質と意義

山岡　愛（長崎市立大浦小学校／長崎大学教育学部卒業生）
榎　景子（長崎大学教育学部）

１．はじめに

（１）問題の所在と本研究の目的

2021 年に世界経済フォーラムが発表した、各国における男女格差を測るジェンダーギャップ指数によると、日本は 156 カ国中 120 位であり、男女格差は先進国の中でも最低レベルということが明らかになった。それに対して、ジェンダーギャップ指数ランキングで 12 年連続 1 位を獲得している国がアイスランドである。

アイスランドには、「女性と男性の平等な地位と権利に関する法律（Act Equal and Equal Right of Women and Men)」で、教育制度の全ての段階において児童生徒は男女平等の問題に関する指導を受けなければならず、特に仕事や家庭生活を含む社会において男女が同等の役割を果たせるように準備することに重点を置く必要があることや、教材や教科書においてジェンダー差別的な記述を禁止することが定められており（Velferðarráðuneytið 2011)、極めて注目に値する。

他方、日本では、教科書も学習指導要領もジェンダーギャップをなくす役割を果たしていないことが従来の先行研究で指摘されてきた（寺田 2018、鈴木・室 2017)。幼少期から教えこまれたジェンダーについての固定的な観念が中学生ころになるとはっきりした形になって現れてくる（石倉 1998）ことを考えれば、我が国の実態は、ジェンダー公正な社会の実現に向けて大きな課題を抱えているといえる。特に日本では、教科書の役割の重要性から、その使用義務を法律で定めている。つまり、毎日の授業で使用する教科書で子どもたちが目にするジェンダー観は、その後の子どもたちの考え方に大きな影響を与えると考えらえる。

以上のことを踏まえ本研究では、日本の小学校とアイスランドの義務教育学校で現在使われている教科書をジェンダー公正の視点から比較分析することで、アイスランド教科書にどのような特質と意義があるのかを明らかにすることを目的とする。ジェンダー差別的な記述が禁止されているアイスランド教科書との比較は、日本のジェンダー教育に対して大きな示唆を得ることが期待できる。

（２）研究の対象と方法

本研究では、日本の教科書のうち特に長崎市と長崎大学教育学部附属小学校の４、５、６年生で使用されている検定済教科書と、アイスランドの主に義務教育中学年(４～６年生)で使用されている教科書の挿絵や学習内容を比較分析する。

アイスランドの教科書は、文化・教育省（Menntamálastofnun：教育分野の行政機関）の後援を受けた国営出版社 Námsgagnastofnun 社が、文化・教育省が発行する学校向けの国家カリキュラムガイドライン（Ministry of Education, Science and Culture 2014）と、センター独自のチェックリストに基づき発行する。全ての小学校で Námsgagnastofnun 社で出版されている教科書が使われるという(2021 年 10 月に行った現地在住日本人への SNS 上でのインタビュー調査より）。なお、教材は法律に基づいて学校に無償で提供されている（Menntun á Íslandi 2021）。

対象選定においては、ジェンダーについて具体的に扱うことが予想される教科に絞り、取り扱われる内容に即して表１に示す両国の教科間で比較分析することとした。なお、２カ国の教育制度の違いにより対象学年ごとの厳密な比較は難しいため、本研究では教科書の対象学年が異なっていても、扱う内容に類似性があれば比較可能なものとして扱う。分析に使用した教科書は表２の通りである。

表１　比較分析する教科

対象選定における観点	アイスランド	日本
ジェンダーについて具体的に扱うことが予想される教科	生活科	社会科・道徳科・保健体育
	家庭科	家庭科

表２　分析に使用した教科書一覧

アイスランド	生活科	・*Ég, þú og við öll - Sögur og staðreyndir um jafnrétt.* Námsgagnastofnun. 2021
	家庭科	・*Gott og gagnlegt1.* Námsgagnastofnun. 2021 ・*Gott og gagnlegt2.* Námsgagnastofnun. 2021 ・*Gott og gagnlegt3.* Námsgagnastofnun. 2021
日本	保健体育	・『みんなのほけん 3・4 年』学研、2020 年 ・『みんなの保健 5・6 年』学研、2020 年 ・『新しいほけん 3・4』東京書籍、2020 年 ・『新しい保健 5・6』東京書籍、2020 年
	社会科	・『小学校社会 4 年』日本文教出版、2021 年 ・『小学校社会 5 年』日本文教出版、2021 年 ・『小学校社会 6 年』日本文教出版、2021 年
	道徳科	・『新訂新しいどうとく 4』東京書籍、2020 年 ・『新訂新しい道徳 5』東京書籍、2020 年 ・『新訂新しい道徳 6』東京書籍、2020 年
	家庭科	・『わたしたちの家庭科 5・6』開隆堂、2021 年

２．アイスランドの生活科と日本の保健体育・社会科・道徳科の教科書比較分析

本章では、アイスランドの生活科と日本の保健体育・社会科・道徳科の教科書を比較分析していく。アイスランドの生活科は日本の生活科と異なり、ジェンダーの平等、障害者と非障害者の平等、人種や出身が異なる人々の間の平等など、様々な平等について学ぶことができる科目となっている。その点で、性について扱う日本の保健体育科や、ジェンダー平等について扱う可能性のある社会科・道徳科の内容に近い。

アイスランドの生活科の教科書ではジェンダー平等についての学習内容が、教科書内の 42 項目中 19 項目と約半分を占ており、アイスランドがいかにジェンダ

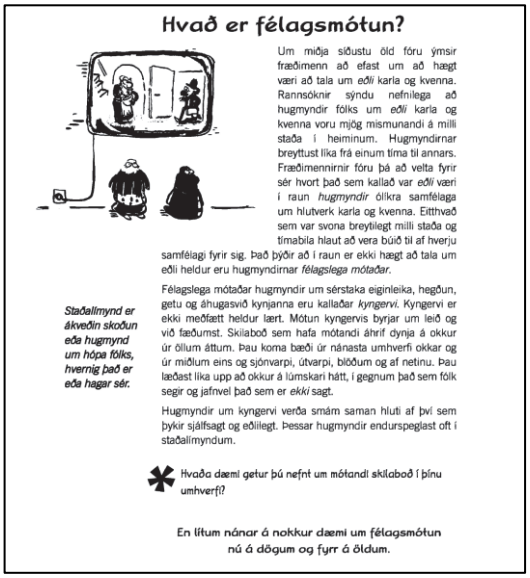
ー平等を重要視しているかがわかる。なお、中身を全て確認したところ、ジェンダー平等に関連するユニットは表２の通りであった。本研究で特に取り上げて分析するユニットには、(a)～(f)の番号を振っている。

表３　アイスランド生活科の教科書内のジェンダー平等に関連するユニット一覧

	頁	ユニット名
(a)	P8	ジェンダーとは何ですか？（Hvað er kyn?）
	P9	自然とは何ですか？（Hvað er eðli?）
(b)	P10	社会化とは何ですか？（Hvað er félagsmótun?）
	P11	ピンクとブルーの物語（Sagan um bleikt og blátt）
	P12	デュアルワールド（Tvískiptur heimur）
	P13	男性のハイヒール（Karlmannlegir háir hælar）
	P14	前世紀の子供服（Barnaföt á fyrri öldum）
	P15	ステレオタイプ（Staðalímyndir）
(c)	P16	エンターテイメントの不平等研究のパイオニア、ジーナ・デイビス氏 （Geena Davis, frumkvöðull í rannsóknum á misrétti í afþreyingarefni）
(d)	P17	エンターテイメントにおけるステレオイメージ（Staðalímyndir í afþreyingarefni）
	P18	ザフラ（Zahra）
(e)	P19	アイスランドの女子教育のパイオニア、ソフィラ・メルステッド氏 （Þóra Melsteð, frumkvöðull í menntun kvenna á Íslandi）
	P20	イシュマエル（Ishmael）
	P21	女子教育の運動家、マララ・ユサフザイ氏 （Malala Yousafzai, baráttukona fyrir menntun stúlkna）
	P22	女性と男性の平等な権利のための戦い（Barátttan fyrir jöfnum rétti kvenna og karla）
	P24	アイスランドの男女平等のパイオニア、ブリエット・ビャーンヘイズドッティル氏 （Bríet Bjarnhéðinsdóttir, frumkvöðull í kynjajafnrétti）
	P25	ジェンダー平等に関するVíðir、Trausta、Oddurの考え （Hugrenningar Víðis, Trausta og Odds um jafnrétti kynjanna）
(f)	P26	男女の平等な権利のための闘士、シグリズール・マリア・エギルスドッティル氏 （Sigríður María Egilsdóttir, baráttukona fyrir jöfnum rétti kynjanna）
	P27	私は女の子だから（Vegna þess að ég er stelpa）

各ユニットは、エッセイと挿絵、そして問いから構成されている（図１）。問いとは、各ユニットの最後にある＊以降の文章を指す。ユニットを学び終わったあとに児童生徒に考えてほしい問いが書かれているのである。

以下では、アイスランドの生活科の教科書のうち、表３に示した (a)～(f)を和訳しながら分析を進めていく。教科書の和訳とともにユニットの中で重要だと思われる内容には下線を引いて示し、その中でも本文で詳しく分析する下線部には丸囲みの数字を付している。


Hvað er félagsmótun?

Um miðja síðustu öld fóru ýmsir fræðimenn að efast um að hægt væri að tala um *eðli* karla og kvenna. Rannsóknir sýndu nefnilega að hugmyndir fólks um *eðli* karla og kvenna voru mjög mismunandi á milli staða í heiminum. Hugmyndirnar breyttust líka frá einum tíma til annars. Fræðimennirnir fóru þá að velta fyrir sér hvort það sem kallað var *eðli* væri í raun *hugmyndir* ólíkra samfélaga um hlutverk karla og kvenna. Eitthvað sem var svona breytilegt milli staða og tímabila hlaut að vera búið til af hverju samfélagi fyrir sig. Það þýðir að í raun er ekki hægt að tala um eðli heldur eru hugmyndirnar *félagslega mótaðar*.

Félagslega mótaðar hugmyndir um sérstaka eiginleika, hegðun, getu og áhugasvið kynjanna eru kallaðar *kyngervi*. Kyngervi er ekki meðfætt heldur lært. Mótun kyngervis byrjar um leið og við fæðumst. Skilaboð sem hafa mótandi áhrif dynja á okkur úr öllum áttum. Þau koma bæði úr nánasta umhverfi okkar og úr miðlum eins og sjónvarpi, útvarpi, blöðum og af netinu. Þau læðast líka upp að okkur á lúmskari hátt, í gegnum það sem fólk segir og jafnvel það sem er *ekki* sagt.

Hugmyndir um kyngervi verða smám saman hluti af því sem þykir sjálfsagt og eðlilegt. Þessar hugmyndir endurspeglast oft í staðalímyndum.

Staðalímynd er ákveðin skoðun eða hugmynd um hópa fólks, hvernig það er eða hagar sér.

✱ Hvaða dæmi getur þú nefnt um mótandi skilaboð í þínu umhverfi?

En lítum nánar á nokkur dæmi um félagsmótun nú á dögum og fyrr á öldum.

図１　生活科教科書のユニット構成

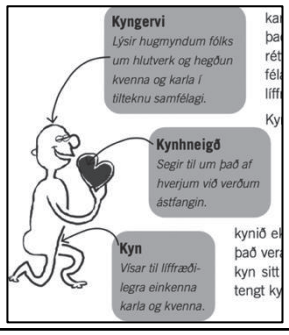
出典：*Ég, þú og við öll - Sögur og staðreyndir um jafnrétti.* p.10

（１）地域・時代によって変容する「ジェンダー」と性別

まず、ジェンダー平等に関わる内容として、地域・時代によって変容する「ジェンダー」と性別についてのユニットがある。

(a) ジェンダーとはなんですか？
……性別の役割と行動に関する人々の考えは、ジェンダーと呼ばれます。性別は社会的に形成されており、個人が生まれる場所と時期によって異なります。たとえば、……世界のある地域で女性的または男性的と見なされているものは、他の地域ではそうではない可能性があります。……これらの考えは正しいことでも間違っていることでもありませんが、それらはそれらが生まれる社会に依存します。ジェンダーとは生物学的ではなく社会的な考え方なのです①。（後略） ＊女性的と見なされるものとして何が思い浮かびますか？ では男性的なものは？

ここでは下線①のように、「ジェンダー」は社会的に形成されるもので、時代や地域によって考え方に違いがあるということが示されている。また、絵１はこのページに掲載されている挿絵である。「生物学的な性別」と「自分が認識している自分の性別」と「性的指向」は分けて考えるべきだということがイラストを用いて極めて分かりやすく説明されている。



…〈自分が認識している性〉
特定の社会における女性と男性の役割と行動に関する人々の考えを記述したもの

…〈性的指向〉
私たちが恋に落ちる相手について教えてくれるもの

…〈生物学的な性別〉
男性と女性の生物学的な特徴を指すもの

絵１　性に関する挿絵と和訳

出典：*Ég, þú og við öll - Sögur og staðreyndir um jafnrétti.* p.8

一方、日本でも、2020 年４月から小学校で使用し始められた、公文書院と文教社から出版された保健体育の教科書で初めて LGBT に関する記述を盛り込む教科書が登場した（NHK 2019）。しかし、現段階では性的少数者についての内容を組み込むかどうかは出版社に委ねられる形となっており、これらの教科書を用いていない自治体の児童は、性的少数者の存在に触れることなく中学校へと進学する可能性がある。これではジェンダー教育として十分とは言い切れない。

実際に、保健体育科において長崎市では学研の教科書が、附属小学校では東京書籍の教科書が採択されているが、これらには LGBT の内容は組み込まれていない。学研及び東京書籍の教科書では、「思春期になると異性との関わり方が変化してくる」という記述が存在する。これは身体的な性と自己認識の性が一致しており、かつ恋愛対象が異性である、いわゆるストレートについて説明である。その他の多様な性についての記述は全くない。上記のような記述のみでは、これらの

性に当てはまらない児童にとっては「自分は他の人とは違う」という不安や違和感を助長するだけの学習内容となってしまうことが予想される。

（２）ステレオタイプの形成

次に、アイスランドの生活科の教科書では５つのユニットに渡って、私たちを取り巻くメディア等の環境が、ジェンダーについての考えをはじめ人々のステレオタイプの形成に大きく影響することを学ぶ。例えば、以下(b)～(d)に示すような内容が扱われる。

(b) 社会化とはなんですか？

……男女の特徴、行動、能力、興味に関する社会的に形成された考え方はジェンダーと呼ばれます。ジェンダーは生得的なものではなく、学習されたものです。 セクシュアリティの形成は、私たちが生まれるとすぐに始まります。形成的効果のあるメッセージは、あらゆる方向から私たちを襲います。それらは、私たちの身近な環境からも、テレビ、ラジオ、新聞、インターネットなどのメディアからもやってきます②。また、人々が口にする言葉、あるいは口にしない言葉を通じて、より巧妙な方法で私たちに忍び寄ります。

ジェンダーについての考えは、徐々に当たり前のことの一部になります。これらの観念は、ステレオタイプに反映されることがよくあります。

＊あなたの環境における形成的メッセージとして、どんな例をあげることができますか？

(c) エンターテイメントの不平等研究のパイオニア、ジーナ・デイビス氏

2004 年、アメリカの女優ジーナ・デイビスは、幼い娘と一緒に子ども向けの教材を見ていて、その中に女性の登場人物がほとんどいないことに気づきました。ジーナはこの件を調査してもらうことにしました。すると、子ども向けの教材では男性３人に対して女性が１人しかいないことが判明しました。グループに換算すると、女性の登場人物はわずか17%でした。実際には、人類の約半分は女性であり、半分は男性です。……エンターテイメントは非常に偏った世界を描いています。また、女の子や女性、20 歳未満と 50 歳以上の人、貧しい人、白人以外の色を持つ人、障害のある人があまりにも少ないのです。このような偏った世界観は、私たちが実際の生活の中で自分自身や他人の捉え方に影響を与える可能性があります③。

＊子どもやティーンエイジャー向けの教材でどのようなステレオタイプに気づきましたか？それらはあなたにどのように影響を与えると思いますか？

(d) エンターテイメントにおけるステレオイメージ

エンターテインメントやメディアに登場するステレオタイプは、非常に限られた人間像を示すものです。それらは私たちの自己イメージ、教育と仕事の選択、他者への理解を制限するような悪影響を及ぼしかねません。私たちは周りのメディアのステレオタイプに慣れてしまったがゆえに、その影響を自覚しきれていないことがあります④。したがって、批判的な眼鏡をかけてステレオタイプを意識してみることが有効であるかもしれません。……ステレオタイプのせいで、私たちは実在の人々の特徴を一般化し、意見を形成してしまいがちです。 このような一般化は偏見と呼ばれ、誰にとっても有害です。

(b)ではジェンダーの観念がどのように形成されるのかについて、(c)では子ども向けの教材で見られるステレオタイプについて、(d)ではエンターテイメントが持つステレオタイプの考え方が与える影響について、それぞれ述べられている。そのなかでは下線部②～④のように、私たちが普段の生活の中でよく触れるテレビや本などが、思い込みや偏見、差別を含むステレオタイプを形成しており、偏

ったステレオタイプが誤ったジェンダーの考え方に影響することが指摘されている。ステレオタイプの形成について繰り返し述べられていることからも、このことがジェンダー教育を行う上で重要視されている部分であることがわかる。

また、メディアは事実を湾曲して表す可能性があるため、情報モラルの必要性についても記述されている。日本でもスマートフォン等の急速な普及に伴い、情報モラル教育の必要性が高まっていることから、文部科学省が動画教材及びモデル指導案等を作成している（文部科学省 2020)。しかしこれらは主にインターネットやSNSを使用する上で注意することに重きが置かれており、メディアが利用者の考え方に影響を及ぼすという記述はない。インターネットが身近に普及し、使用する機会が多くなった現代の子どもたちがインターネットから受ける影響は大きい。そのため、ジェンダーに関するメッセージなどをはじめとして「本当にそれが正しいのか」という視点をもってインターネットを使用できるようになるための教育がさらに必要といえる。

以上、ステレオタイプの形成に関するユニットでは、子ども自身が偏った考え方をしていないかを考えるきっかけとなると考えられる。これらに該当するような内容は日本の保健体育や道徳科、社会科には管見の限り見当たらない。

（３）ジェンダー平等に向けて闘った偉人

続いて、アイスランドの生活科の教科書では、ジェンダー平等な国にするために活動した４人の女性が紹介されている。例えば(e)と(f)のユニットは以下のような内容となっている。

(e) アイスランドの女子教育のパイオニア、フィソラ・メルステッド氏
私たちアイスランドでは、６歳から 16 歳まで学校に通うことは当然のことと考えているかもしれませんが、これらの権利を取得してまだ日が浅いのです。また、世界のどの国でも当たり前のこととはまだ言えません。すべての子どもたちが勉強するための平等な権利のための戦いは非常に困難であり、まだ終わりそうにありません。 世界の多くの地域で、女子が勉強することは男子よりもはるかに困難です。……

(f) 男女の平等な権利のための闘士、シグリズール・マリア・エギルスドッティル氏
……幼い頃から平等の問題について考え始めた彼女は、学校のクラスメイトがフェミニズムという概念に対して非常に歪んだ見方をしているということにすぐに気がつきました。他の学生はフェミニズムが何であるかさえ知りませんでした。彼女はまた、男子と女子が人生で平等な立場で生活していないことを示すさまざまなことを環境の中で感じていたそうです。それがきっかけで、彼女は男女共同参画の分野に関わることを決心しました。… 彼女のアドバイスは次のとおりです。「……ジェンダーの不平等は私たちの社会の事実であり、若者が彼らの目標の邪魔をすることを許されるべきではありません。」 ＊アイスランドのジェンダーの不平等の例としてどのようなものがあるでしょうか？女性と男性が同一労働同一賃金を受け取ることが重要なのはなぜですか。特別な女性向け、男性向けの仕事があると言えるでしょうか？ なぜそうなのでしょうか？

日本でも、男女平等な社会の実現のために行われた運動や改革が存在する。日本文教出版『小学社会６年』の教科書は、「平塚らいてう（らいちょう）などは、

女性の自由と権利の拡大を目指す運動を続けました」「平塚らいてうは、仲間とともに、これまで男性よりも低くみられていた女性の地位の向上をめざす運動を続けました」という内容で、日本で行われた運動について説明している（p. 190）。こうした男女平等な社会の実現に寄与した人物を扱っている点はアイスランドも日本も同様といえよう。また、同教科書では、戦後のおもな改革として「女性に参政権をあたえる法律がつくられました」という文言もある（p. 214）。絵２はその改革に関わる教科書の挿絵である。

だが、この挿絵は本当に適切と言えるだろうか。女性へ参政権を与えた法律ができただけで男女が真に平等になるわけではない。この記述では日本で完全に男女平等な社会が実現したと捉えてしまう児童がでてくる可能性もある。

絵２「戦後のおもな改革」に関する挿絵の一部

出典：『小学社会６年』p. 214

それに対しアイスランドでは、先に分析した「ステレオタイプの形成」に関するユニットのように、依然として社会の側に課題があるということが繰り返し示されている。文章と挿絵という表現の違いはあるにせよ、教科書ではジェンダー公正な社会の実現に向けたこれまでの成果と今後の課題を丁寧に扱うことが重要である。

以上、我が国の４～６年生の社会科の教科書において、歴史の分野で男女平等についての取り組みとして明記されている部分は上記の２箇所と非常に少ない。日本の社会科（歴史）においてジェンダー公正に向けての社会運動の歴史がそれほど重要な位置づけとされていないことを意味しているのではないか。

他方、日本の道徳科では「友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと（傍点―筆者）」が目指されている。この文脈より、男女は別の生き物であり、普段の生活の中では理解し合うことが難しいゆえに、道徳科を通して人間関係を構築することが目指されるべきと捉えられていることがわかる。これは寺田（2018）が指摘しているように、男女平等が目指されるどころか、むしろ初めから男女は異なるものとして想定されているように思える。また、道徳科は公平・公正について取り扱いのある教科であるが、教科書には男女の平等や性的少数者に関する記述は見られない。アイスランドの教科書と比較してみると、日本の道徳はジェンダー平等な社会にしていく役割を十分に果たすほどの内容の取り扱いとはなっていないことがわかる。

３．アイスランドと日本の家庭科の教科書の比較分析

次に第３章ではアイスランドと日本の家庭科の教科書の比較分析を行う。ここでは同じ学習内容についての両国での取り扱いと挿絵に注目して分析していく。

（１）「家族の協力」に関わる記述の比較

２カ国の教科書にはともに「家族との協力」について記されたページが存在する。同じ内容がそれぞれどう扱われているかを比較することで、両国の教科書のジェンダー公正の視点からみた特質と課題が明らかになるものと思われる。

○アイスランド：自宅での協力（“Gott og gagnlegt1”p.31）

家族全員が家事を手伝うと、一人ですべての責任を負わなければならない場合よりも楽しく簡単になります。

○日本：[5]できるよ、家庭の仕事（『わたしたちの家庭科５・６』p.35）

できるようになったことを生かして家族の一員として、協力して仕事をします。家族がしている仕事の中から自分が受けもてる仕事を分担しましょう。

これらは協力について取り扱われたページに記載されている文章である。文章を比べてみると、どちらも家事の協力を促す内容ではあるが、アイスランドは「全員で」協力することを促しているのに対し、日本の教科書では「できるようになったことで自分が」協力することを促している。すなわち、日本の教科書もアイスランドの教科書も一見同じ「協力」について取り扱っているようだが、アイスランドでは家族で家事をどう分担するかに重きが置かれているのに対し、日本は学習者（＝子ども）が学んだことをいかに生活に生かすかに重きが置かれていることがわかる。それぞれの達成目標に応じた記述であり優劣はつけられないが、アイスランドがジェンダー公正を軸とした記述であることは間違いない。

日本の家庭科でもアイスランドの家庭科でも、唯一このユニットだけが性別分業に関係している内容であった。

（２）挿絵の比較

次に家庭科の教科書において、家事（料理、育児、掃除、買い物など）をしている大人と子どもの挿絵の数を比較していく。ここでは髪型や身体的特徴などから男女を識別した。表４が挿絵として登場する男女の人数である。

表４　挿絵として登場する男女の人数

	成人男性	成人女性	男子（子ども）	女子（子ども）
アイスランド	７人	７人	８人	７人
日本	９人	11 人	13 人	７人

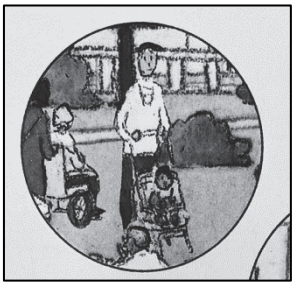
表４より、アイスランドの教科書の挿絵は男女の人数の差がほとんどないことがわかる。同じく日本も、大人の挿絵についてはあまり差が見られない。他方で日本では、子どもの写真やイラストは男子の方が多いという結果となった。

しかし、日本の教科書でも、男性が料理を行う写真（写真１）や、ベビーカーを押しているイラスト（絵３）が使われていた。家事や育児は女性の仕事だという考えがいまだに残っている日本でも、家事における性別役割分業について考慮されていることが分かる。なお、絵４、絵５はアイスランドの家庭科の教科書の

中の挿絵である。日本同様、男性が家事・育児をしている様子が描かれている。

写真１　料理をする男性

出典：『わたしたちの家庭科５・６』p.25



絵３　育児を行う男性

出典：『私たちの家庭科５・６』p.120,122

絵４　料理をする男性

出典：*Gott og gagnlegt3.* p.7

絵５　育児を行う男性

出典：*Gott og gagnlegt2.* 表紙，p.11

以上の家庭科の教科書の比較分析より、アイスランドの教科書では日本の教科書よりも家族全員が同じ立場であることを前提に家事の役割分担を促している記述があることがわかった。一方、挿絵についてはアイスランドだけでなく、日本の教科書でも性別役割分業に対する配慮がみられた。

４．おわりに

本研究ではアイスランド２教科と日本４教科の教科書を重点的に比較分析してきた。その結果、アイスランド教科書の特質として次の２点が挙げられる。

第一に、ユニットで意図的に女性偉人を多く扱ったり、挿絵の男女比を１：１にしたりする等の配慮が見られる点である。木村（2008）は日本の小学校社会科で取り上げられる歴史上の人物における女性の少なさを指摘していたが、学習指導要領改訂後の教科書でも変化は見られない。歴史的に見ると活躍した人物に男性が多くなりがちだが、アイスランド教科書のように意図的に男女の扱いを等しくすることは､ジェンダー公正な社会をつくる出発点として非常に大切といえる。

第二に、多角的な視点からジェンダーを扱っている点である。例えば生活科の教科書では、ジェンダーの説明に加え、ステレオタイプやジェンダー観の形成過程、男女平等な社会の実現に向けて活動した女性の紹介など、様々な角度からジェンダーが扱われていた。他方、日本では現在のステレオタイプやジェンダー観が多くの人に浸透している背景を取り扱う教科はない。このように、比較分析に用いた教科の中で、アイスランドのジェンダー公正な社会をつくるのに特に大き

な役割を果たしているのがアイスランドの生活科の教科書であった。

以上の２点の特質もつ教科書を義務教育期間中に用いて学習することは、アイスランドを世界で一番ジェンダー公正な国にする大きな手助けになっているといえるだろう。アイスランドの教科書に比べると、日本の教科書で児童が性的少数者やジェンダーに触れる機会の少なさが浮き彫りとなった。その点で日本の教科書には改善点があるといえる。

ジェンダーに関する知識や考え方を、教育を受けた人たちの共通の認識とすることができることは、教科書でジェンダー平等について取り扱う良さである。日本でも保健体育で多様な性を紹介したり、平等について扱いのある道徳の授業でジェンダー教育を行ったりすることが今後よりいっそう重要となる。義務教育段階を通して、「自分は変だ、人と違う」と悩む子どもが減ることが目指されなければならない。そうすることで、今よりもジェンダー公正な考え方が次の社会を担う子どもたちに根付き、少しでもジェンダー格差がなくなり、性で悩む人たちが生きづらさを感じることがないような社会をつくっていくことが望まれる。

引用文献・資料

・石倉洋子「学校におけるジェンダー・バイアス ―ジェンダー・フリーな教育のために―」『白鴎大学論集』1998 年、pp.123-145。

・木村涼子「ジェンダーの視点から読み取れるもの」竹内常一他『2008 年版学習指導要領を読む視点』白濁社、2008 年、pp.39-60。

・鈴木美花・室雅子「ジェンダーの視点からみる教科書内の職業の挿絵について-小学校教科書の分析から」『一般社団法人日本家政学会研究発表要旨集』2017 年。

・寺田晋哉「ジェンダーの視点からみた新学習指導要領」『宮崎公立大学人文学部紀要』2018 年、pp.105-122。

・文部科学省「情報化社会の新たな問題を考えるための教材～安全なインターネットの使い方を考える～ 指導の手引き」令和 2 年度追加版、2020 年。

・Menntun á Íslandi. “THE NATIONAL CENTRE FOR EDUCATIONAL MATERIALS” Námsgagnastofnunar.2021.https://www.namsgagnastofnun.is/enska/,（最終閲覧日 2022 年 1 月 27 日）

・Ministry of Education, Science and Culture. *The Icelandic national curriculum guide for compulsory schools - with Subjects Areas.* 2014.

・NHK「小学校で使う教科書に初めて LGBT について書いた」NEWS WEB EASY.2019.3.28 https://www3.nhk.or.jp/news/easy/k10011862061000/k10011862061000.html.（最終閲覧日 2022 年 1 月 27 日）

・Velferðarráðuneytið. “Act on Equal Status and Equal Rights of Women and Men No. 10/2008, as amended by Act No. 162/2010 and No. 126/2011.” 2011. https://www.ilo.org/dyn/travail/docs/1556/Act-on-equal-status-and-equal-rights-of-women-and-men_no-10-2008.pdf （最終閲覧日 2022 年 3 月 22 日）